

報道機関各位

2016年7月19日

当社代表取締役社長 手代木 功の  
国際製薬団体連合会（IFPMA）副会長就任のお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、当社の代表取締役社長である手代木 功がこのたび、国際製薬団体連合会（International Federation of Pharmaceutical Manufacturers & Associations、以下「IFPMA」）の副会長に就任しましたのでお知らせいたします。

IFPMA（設立：1968年、本拠地：ジュネーブ）は、研究開発志向型の製薬企業や団体で構成される世界的な非営利・非政府系組織です。国連とも公式な関係を有しており、製薬産業の専門的な知見を提供することを通じて世界の健康問題の改善に貢献しています。IFPMAにはグローバルの製薬企業や業界団体が加盟しており、塩野義製薬は2015年8月に加盟いたしました。

現在IFPMAでは、医薬品アクセスや薬剤耐性（AMR）、偽造医薬品などの多くの世界的規模の課題に対して、国連や世界保健機関（WHO）と協議をしながら取り組んでいます。中でもHIV/エイズ、マラリア、耐性菌など感染症の脅威に対しては、近年グローバル規模でその注目度が高まっています。このたびのIFPMA副会長就任により、50年以上にわたり革新的な感染症治療薬の研究開発ならびに販売をおこない、現在も感染症を重点領域に掲げる塩野義製薬のグローバルでの社会貢献が期待されます。

塩野義製薬は、「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という基本方針のグローバルにおける具現化を今後も一層進め、世界中の患者さまに革新的な医薬品を提供できるようこれからも努めてまいります。

以 上

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596